あけましておめでとうございます。迎えた昭和六十三年が平和で明るい年となりますよう、また、市民の皆様にとりまして素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。

さて、昨年は昭和六十一年から継続中の市庁舎建設工事のほかに、石油の里公園、水道局庁舎、さらには特別養護老人ホーム「かんばらの里」の建設工事にも着手するという大変に忙しい、そして、これからのまちづくりの基礎となる非常に重要な年であったように思います。このほか、第二幼稚園の改築をはじめ、下水道、道路、公園整備にと着実な進展と成果を収めることができたわけですが、これも市民の皆様方のご理解、ご協力の賜物と心から深く感謝を申し上げる次第です。

まちの活性化へ 多様な取り組み

ところで、昭和六十三年は、昨秋から引き続く世界経済の動揺の中で幕をあけました。円高、農産物輸入自由化問題など私たちを取り巻く厳しい環境に変わりはありませんが、今年は、本市にとって大きな節目の年となることが予想されています。ご承知のように、初夏には新庁舎が完成します。また、秋には我がまち独自の資源を生かす石油の里公園のオープンをひかえているほか、「かんばらの里」も四月には開所の運びとなります。

このように、今年は大きな事業が次々に完成するという記念すべき年にあたるわけであり、さらに活力あふれる新津へ向けて、ますます多様な事業に取り組む決意を新たにしているところです。終わりに、本年も皆様方の市政への積極的なご参加とご協力を心からお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

昭和六十三年元旦
新津市長
斎藤　富雄

賀び

期待がふくらむ 市外からの誘客

市民の皆さん、新年おめでとうございます。昭和六十三年の輝かしい新春を迎え、市議会を代表して皆さんとともに栄えゆく当市の将来を寿ぎ、市政の伸展をお祝いできますことは、私の心からの喜びとするところであります。

さて、昨年四月、市議会議員の改選が行われ、五月の臨時市議会におきまして、不肖私が満場一致のご推挙によって議長の重責に就任いたしました。誠に光栄に存ずるとともに、責任の重大さを痛感している次第であります。私は、議会の円満な運営と市政の伸展を信条として、誠心誠意努力してまいりました。おかげを持ちまして大過なく新春を迎えることができましたが、これひとえに議員並びに市民各位のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

顧みまして、昨年は株価の大暴落をはじめ、円高による構造不況、減反面積の拡大、大型店進出問題等々多事多難な年でした。しかし、心配された大雪等の災害のなかったことは、せめてもの幸いだったと存じます。

さて、本年の新津市の事業を概観いたしますと、六月には市民待望の新庁舎の竣工、九月には石油の里公園のオープン、そして小合地区の花き総合センター（仮称）の完成等々、まさに「花とみどりと石油の里」として内外に誇り得る施設が着々と完備することは、誠に喜びに堪えないところであります。今、活性化が大きな課題となり、地域間競争の時代といわれているとき、これら諸事業の完成をみることは、当市の活性化に大きく貢献するものと信じてやみません。

市民の皆さんとともに喜び合い、市内外から多くのお客様を誘致したいと存じます。

翻って、市行財政はますます厳しいものがありますが、冗費は節約し、福祉の増進等真に必要な施策には積極的に経費を投入するよう議会人として努力を借しまない所存であります。皆さんのご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

昭和六十三年元旦
新津市議会議長
石井　一芳

お買物、ご用命は市内で

賀正「畳替え匂うい草の心地よさ」本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新津畳協同組合 ☎(22)7923
寺尾畳店 ☎(22)3461
田辺畳店 ☎(22)3677
(有)笹川畳店 ☎(22)0720
井浦畳店 ☎(22)0685
阪井畳店 ☎(22)1422
小川畳店 ☎(22)1461
坂爪畳店 ☎(22)1217
湯田畳店 ☎(22)3510
長谷川畳店 ☎(22)1255
イマイのたたみ ☎(22)0665
新井田タタミ店 ☎(22)2945

受彰を喜ぶ まどかのメンバー

まどか〟に輝く 厚生大臣表彰

26年間の点訳奉仕活動実る

点訳奉仕グループ〝まどか〟が昨年十一月、東京で開かれた全国社会福祉大会で厚生大臣表彰を受けられました。長年にわたる地道な社会福祉事業への功労が認められたものです。

〝まどか〟は、二十代から七十代までの主婦を中心としたグループです。現在会員は男性二人を含む十四人とけっして多くはありませんが、この会の発足は早く、昭和三十七年。今日までの二十六年間、〝目の見えない人にも広がる世界を感じてもらえたら〟という有志の熱い思いが、次から次へと受け継がれてきました。

また、会員の中には、亡父の意志を継ぎ親子二代にわたって活動されている方もおり、こうした情熱が今回の受彰に結びついたと言っても過言ではありません。

先日、月一回図書館で行われる〝まどか〟の例会に出席して、点訳が予想以上に正確さと根気が要求される作業であることを痛感しました。点訳は、点字器に〝はり〟で一マス一マス穴をあけていく細かい作業のため、校正を加えると本一巻（百五十ページ）を仕上げるのに一か月以上かかるということです。しかも、たった一か所打ち間違っても、一枚全部打ち直さなければならず、とても神経を使うそうです。

例会では、技術の向上のため批評し合ったり、悩みを話し合ったりしています。「点訳で一番大切なことは正確さです。人名や地名などには気を使います」「夜の仕事になることも多いけれど、マイペースです」など、皆さんの話すことばに気負いはありません。日常生活の中の奉仕なのです。

点訳は正確さと根気が必要

これまでにこの会から県立点字図書館に寄贈された点訳本は四百巻以上に達しています。これらの図書は点字図書館の目録に載せられ、全国の多くの盲人の方々に愛読されています。

「まどか」を代表して木村さんは、「苦労の半面、喜びもあります。これからは点訳を直接地域福祉に役立てたいのですが、それにはもっと多くの仲間がほしいですね」と情熱ある人の加入を呼びかけていました。

今後とも〝あたたかな芽〟が少しでもふくらんでいくことを期待しています。

今年は辰（たつ）年

辰は、十二支の中で唯一の空想の動物です。しかし、念のため、ある動物図鑑を見ると、辰は竜として載っていました。

「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。辰は、十二支の仲間として、広く知られた存在なので、架空の動物の中でも別格なのでしょう。

伝説の竜は、中国や日本だけでなく、同じようなものがヨーロッパやインドなどにも見られます。どれも実在の動物を組み合わせたようなものですが、中国や日本の竜は、蛇の胴に足をはやし、鬼の顔に鹿の角をつけたような動物です。

竜は日本では、水をつかさどる力を持っているとされ、竜神や竜王に雨ごいをする風習が各地にあります。「竜住む池は水枯れず」とか「竜の子は小さしといえども、よく雨を降らす」などといわれるのはこのためです。

また、竜は、諺にもしばしば登場します。「竜吟ずれば雲起こる」とは、英雄の決起に多くの同志がこれに従うことの意味です。英雄を竜にたとえているのです。

「竜の翼を得たるがごとし」は、強いものがさらに強くなることで、翼の代わりに水、雲などということもあります。

「竜の髯（ひげ）を取る」は、難しいこと、危険なことのたとえ。また、「竜の髭を蟻がねらう」は、身のほど知らずのたとえです。

このように竜は、強いものとされていますが、「竜虎あい撃つ」ともいわれますから、竜は、虎とは互角のようです。

＊　＊　＊

さて、皆さんは、この新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものです。

＊腹（あぎと）とは、あごのこと。

お買物、ご用命は市内で

謹賀新年
毎度ありがとうございます
◆本年の定休日は毎週火曜日のみと変わります。
渡辺美容院 本町3 能代川沿りのウラ通り ☎(22)0626
ヘアーステーション わたなべ駅前店 ☎(22)2611

♥手づくりのデリカ家♥
— 21世紀の美と健康を創る —
クロスタニン特許食品 | カツウラ化粧品
無公害洗剤 | 手づくり食品
初売り 2日〜10日 ご来店下さい
素肌美講習会 29日(金) 10:00〜12:00 お手入れ法を指導します。
申し込み・問い合わせ 長崎屋1Fデリカ家 でんわ 24−7936へ